

表札等に関するアンケート調査中間報告(概要版)

《調査概要》

【調査目的】

当研究会のカード運動を通じて、最近のマンションでは、表札を出さない、メールボックスに名前を入れないというケースが増えていることを実感した。社会不安等が背景にあると推測すると同時に、誰が住んでいるのか、住んでいるかどうかもわからないとの不安の声も多く聞く。そこで、その実態がどうなっているのか、その背景にはどのような心理があるのかを調査することとした。

【調査期間】

平成24年7月11日 ～ 10月20日

【調査方法】

- ① マンション管理及びコミュニティに関するセミナー、フォーラム等の出席者へのアンケート調査
- ② 当研究会理事の家族、知人へのアンケート調査

【調査内容】

- ① 居住するマンション全体の状況について(選択式)
築年数、戸数、団地・単棟の別、オートロックの有無、防犯カメラの有無、表札有の割合、コミュニティ活動の状況、あいさつ・声掛けの状況
- ② 回答者の状況、感じ方について(選択式)
居住年数、表札の有無(有の方に－ i. 出さないことへの思い、無の方へ－ i. 出さない理由/ ii. 要請があれば出すか)、メールボックスへの記名の有無(無の方に－ i. 出さない理由/ ii. 要請があれば出すか)
役員経験、顔と名前が一致する住民の人数、両隣の苗字認知有無、性別、年代
(自由記載)
 - ・ 出さないことに対する思いの理由
 - ・ 表札、ネームプレートに関するマンションの取り組み
 - ・ 表札を出さない理由で聞いたことがあるもの
 - ・ 表札を出さない傾向についての思い

【回答数】 604

《調査結果》

1. 回答者の属性 (n=604)

(1) 回答者のマンションの築年数と戸数規模

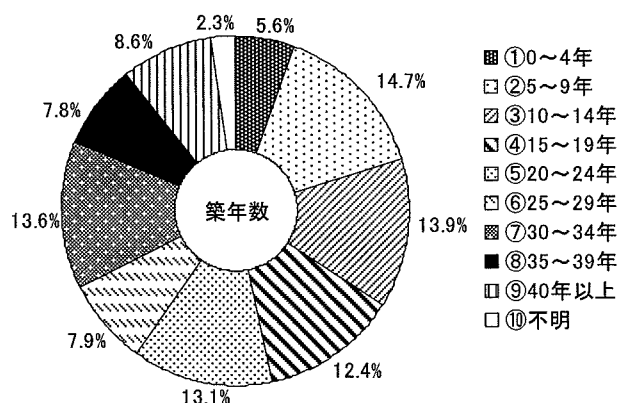


図1. 回答者が居住するマンションの築年数

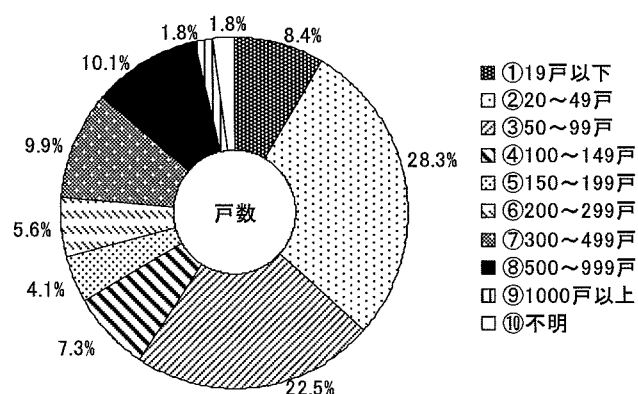


図2. 回答者が居住するマンションの戸数

- ・回答者が居住するマンションの築年数は、0～4 年から、40 年以上まで広く分布している。
- ・戸数は、19 戸以下から、1,000 戸以上まで広く分布しており、20～99 戸が約半数を占めている。

(2)回答者の性別と年齢

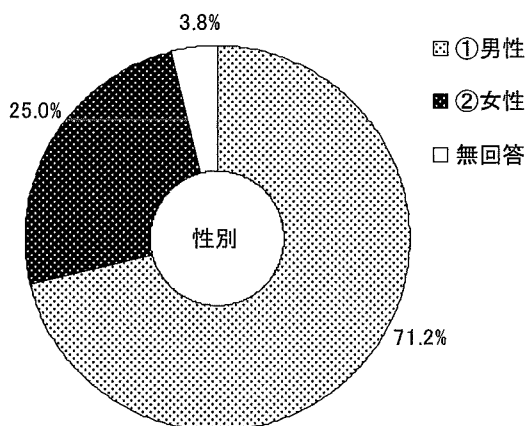


図 3. 回答者の性別

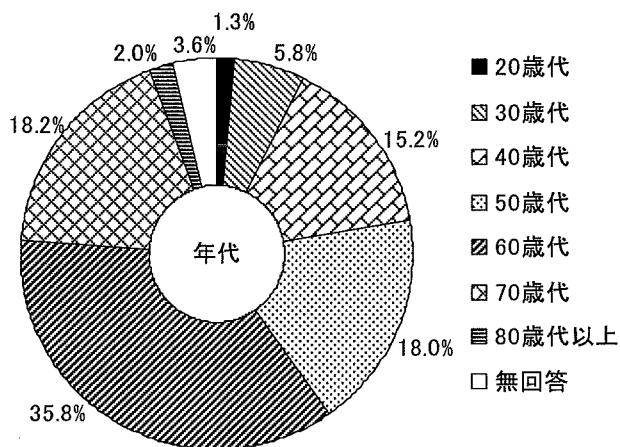


図 4. 回答者の年代

- ・回答者の性別は、男性が約 3/4、女性が約 1/4 であった。
- ・回答者の年齢は、60 歳台が 35.8%と最も多く、これに、70 歳代 18.2%、50 歳代 18.0%が続いている。

2. 居住するマンション全体の状況 (n=604)

(1)表札有の状況

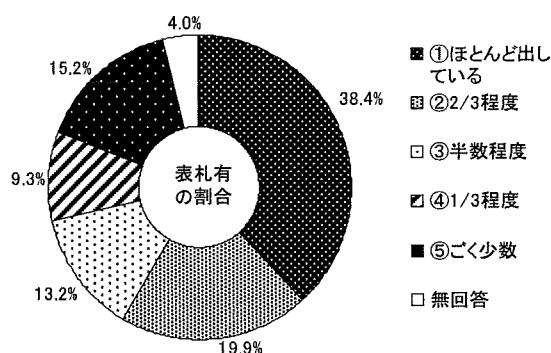


図 5. 表札を出している割合

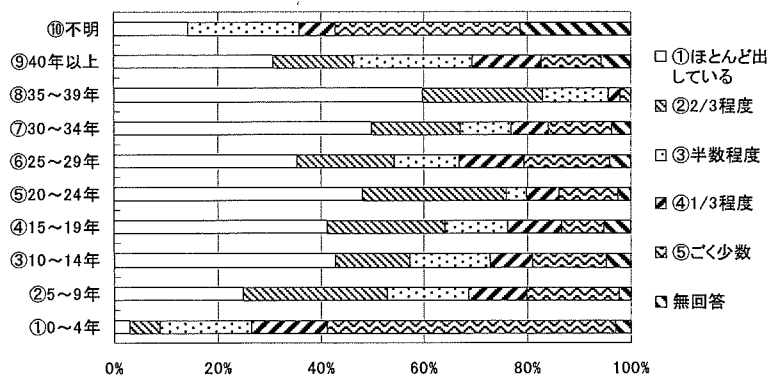


図 6. 築年数別、表札有の割合

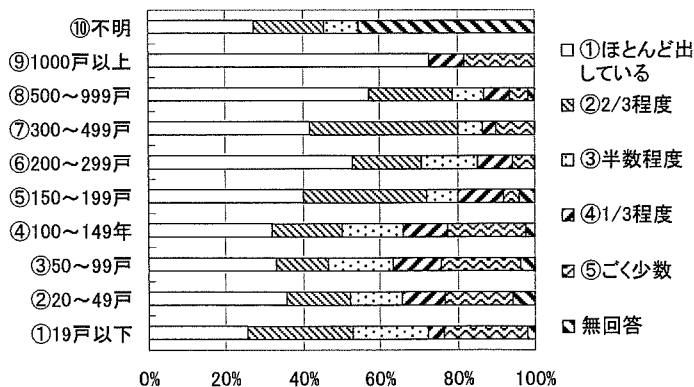


図 7. 戸数別、表札有の割合

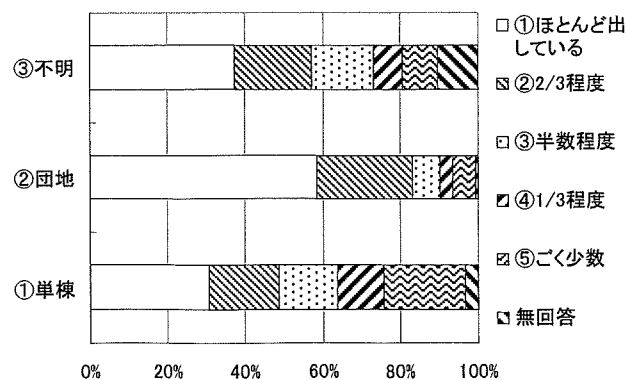


図 8. 単棟/団地別、表札有の割合

- ・表札をほとんどが出しているマンションの割合は 38.4%、これに 2/3 程度 19.9%、半数程度 13.2%が続く。ごく少数しか出していないマンションも 15.2%あった。
- ・築年数別に見ると、築 39 年までは、築年数が進むほど、表札を出している割合が高い傾向が見られるが、築 40 年以上では、急に出している割合が低くなっている。築 4 年以下では、ほとんど表札を出していないマンションが約6割を占めている。
- ・戸数別では、戸数が大きくなるほど、表札を出している割合が大きくなる傾向が見られた。
- ・団地と単棟では、団地の方が表札を出している割合が高い。

(2) メールボックスに苗字を入れている状況

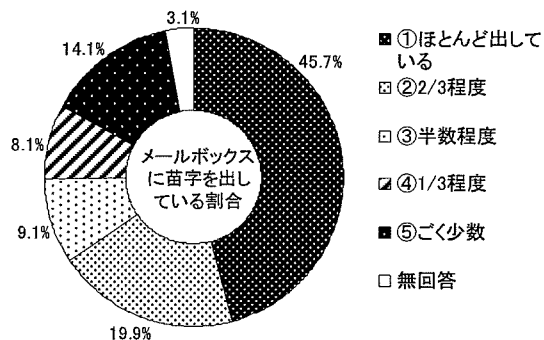


図 9. メールボックスに苗字表示割合

- ・メールボックスに苗字をほとんどが出しているマンションの割合は 45.7%、ごく少数しか出していないマンションは 14.1%だった。
- ・玄関の表札よりメールボックスの方が表記率が高い傾向が見られた。

(3) オートロックの有無と表札等の関係

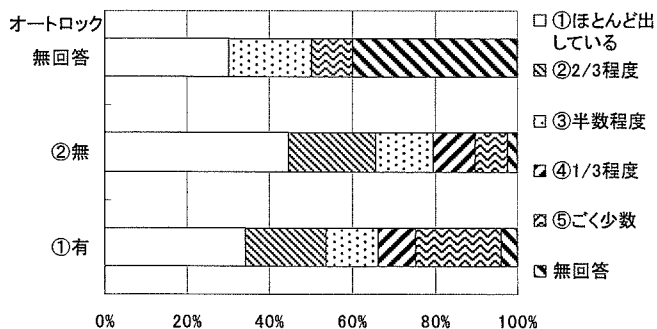


図 10. オートロックの有無と表札表示割合の関係

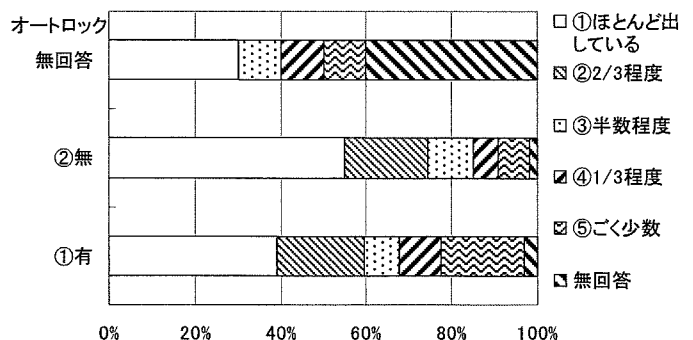


図 11. オートロックの有無とメールボックス苗字有無の関係

- ・オートロックは、有が 56.0%、無が 42.4%であった。
- ・オートロックの有無と表札等の表示割合の関係を見ると、オートロック有の方が、玄関表札、メールボックス共に表記率が低い傾向が見られた。

(4) コミュニティ形成と表札との関係

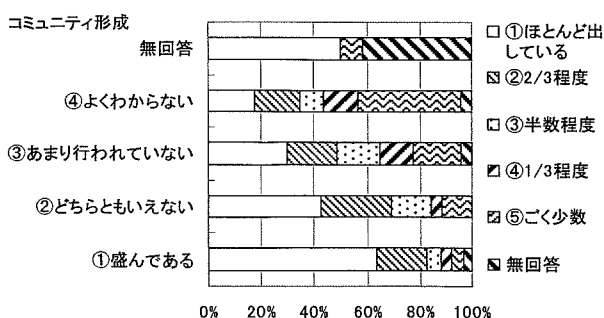


図 12. コミュニティの形成と表札割合の関係

- ・コミュニティ活動が盛んであると回答したマンションの 6 割強が「ほとんどが表札を出している」と回答したのに対し、あまりコミュニティ活動が行われていないマンションでは「ほとんどが表札を出している」は約3割だった。

(5)コミュニティ活動とあいさつ・声掛けの関係

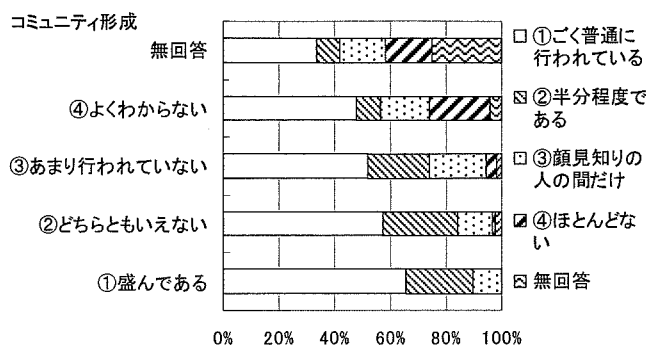


図 13. コミュニティ形成とあいさつ・声掛けの関係

・コミュニティ活動の状況とあいさつ・声掛けが行われている状況の関係をみると、コミュニティ活動が盛んなほど、あいさつ・声掛けが自然に行われていることがわかった。

3. マンション居住者の状況 (n=604)

(1) 表札を出している状況と、出さないことへの思い

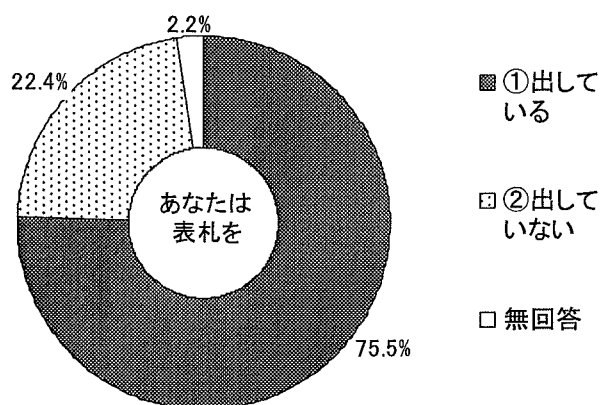


図 14. 表札を出している割合

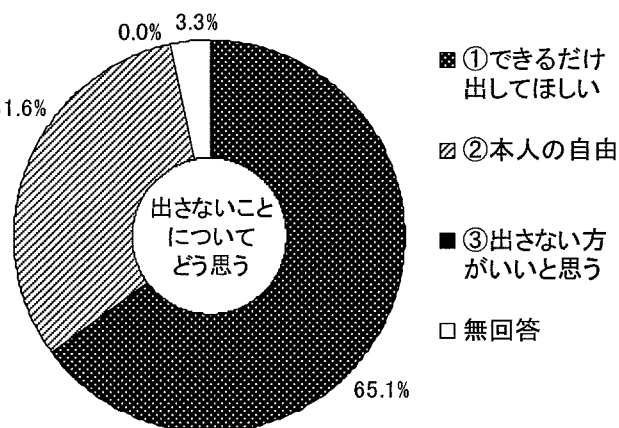


図 15. 出さないことをどう思うか(出している人に質問)

・表札を出している人は 75.5%、3/4 が表札を出していた。

・表札を出している人の 65.1%は、周りにもできるだけ表札を出してほしいと思っており、31.6%は、自分は出しているが、出す出さないは本人の自由と考えている。

(2) 表札を出さない理由と出そうという要請への対応

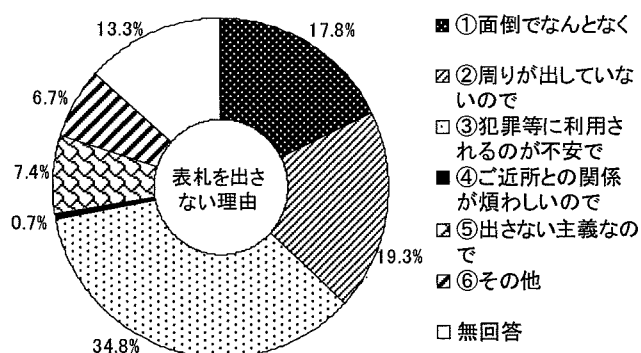


図 16. 出さない理由(出していない人に質問)

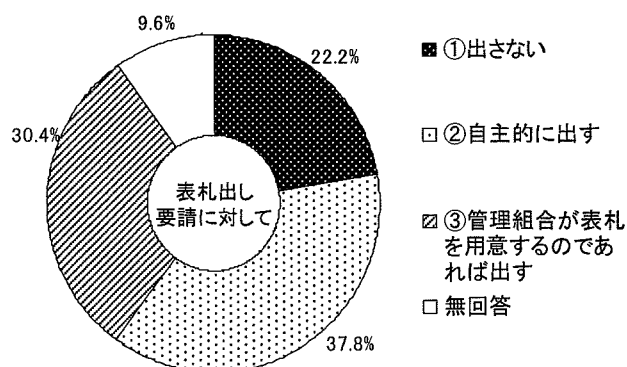


図 17. 要請があれば出すか(出していない人に質問)

- ・表札を出していない人の「出さない理由」で、一番多かったのは、「犯罪等に利用されたくない」で 34.8%であった。これに、「周りが出していないから」が 19.3%、「面倒でなんとなく」が 17.8%と続き、計 37.1%は、出さないことに強い理由はないことがわかった。
- ・管理組合から表札を出そうという要請があったらどうするかという問いに対しては、「自主的に出す」が 37.8%、「管理組合が表札を用意すれば出す」が 30.4%で、計 68.2%は、要請があれば出すという結果だった。

(3) メールボックスのネームの有無

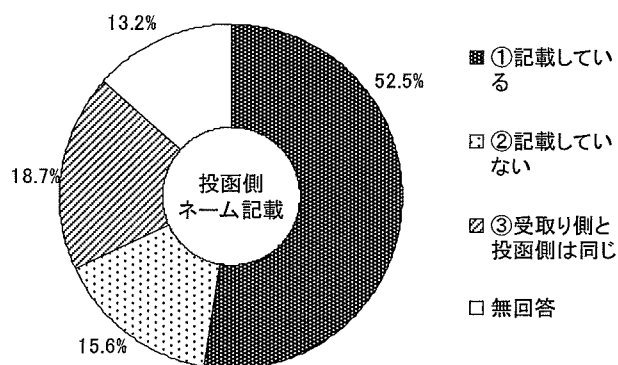


図 18. メールボックスのネーム有無(投函側)

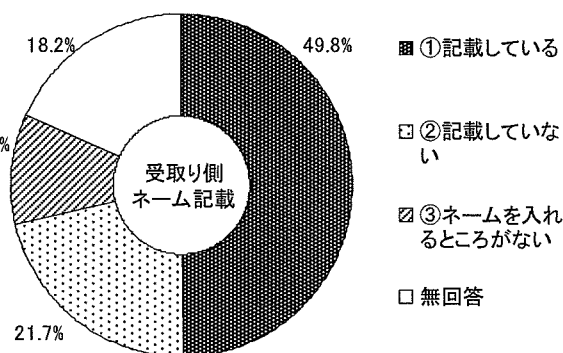


図 19. メールボックスのネーム有無(受取り側)

- ・メールボックスのネームの有無については、投函側、受取り側共に、約半数が記載している。受取り側と投函側が同じものが 18.7%、受取り側にネームを入れるところがないものが 10.3%あった。

(4) メールボックスにネームを出さない理由と出そうという要請への対応

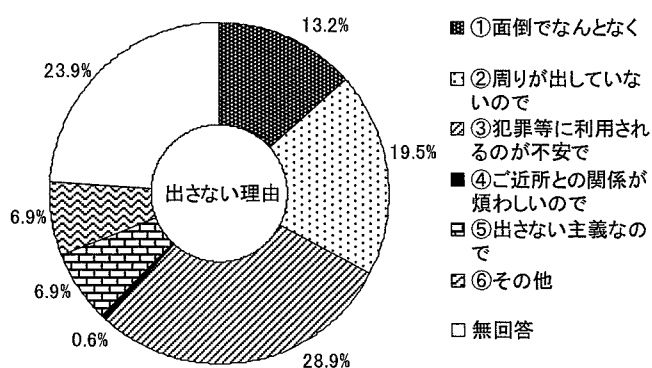


図 20. 出さない理由(出していない人に質問図)

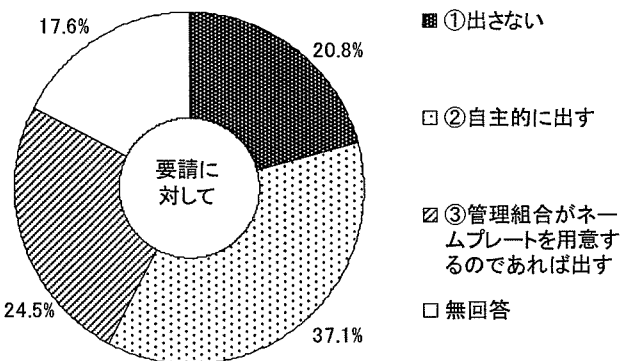


図 21. 要請があればネームを出すか(出していない人に質問)

- ・ネームを出していない人の「出さない理由」で、一番多かったのは、「犯罪等に利用されたくない」で 28.9%だった。これに、「周りが出していないから」が 19.5%、「面倒でなんとなく」が 13.2%と続き、計 32.7%は、出さないことに強い理由はないことがわかった。
- ・管理組合からネームを出そうという要請があったらどうするかという問いに対しては、「自主的に出す」が 37.1%、「管理組合が表札を用意すれば出す」が 24.5%で、計 61.62%は、要請があれば出すという結果だった。

(5) マンション内で顔と名前が一致する人の人数とお隣との普段の交流

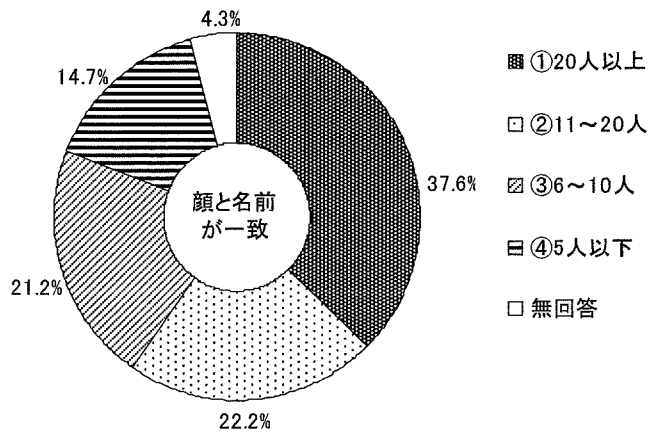


図 22. 顔と名前が一致する人の人数

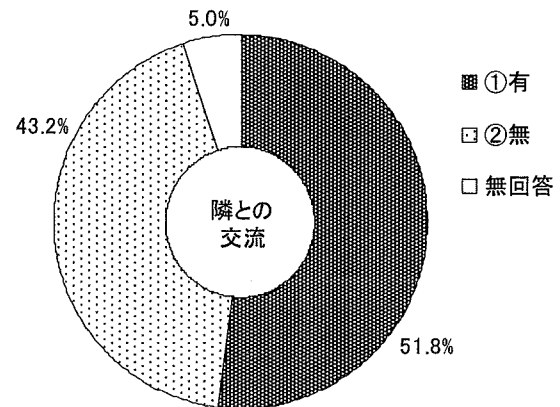


図 23. お隣との普段の交流状況

- ・20人以上顔と名前が一致すると答えた人が37.6%と一番多かった。5人以下との回答が14.7%あった。
- ・お隣との普段の交流は、有が51.8%、無が43.2%と分かれた。

4. 自由記載のまとめ(傾向について一部を抜粋)

(1) 出さないことに対する思いの理由

①「できるだけ出してほしい」理由

- ・コミュニケーションを図るため、お互いに交流するために必要
- ・誰が住んでいるか、また空いている部屋なのかわからないから
- ・表札を出すのは常識、マナーとして当然
- ・一緒に住んでいる人の名前ぐらいは知らない不安だから 等

②「本人の自由」の理由

- ・それぞれに理由があり強制できない
- ・プライバシー、個人情報の問題だから 等

(2) 表札、ネームプレートに関するマンションの取り組み

①管理組合の費用で取り付け、交換を実施

- ・集合メールボックスのネームは新築の時より管理組合が管理して記載
- ・大規模修繕工事の際に、全戸の表札、メールボックスネームを交換(異論はなかった)
- ・管理組合の管理の一環として、管理費で作成して配布
- ・新入居者に必ず実費で支給(拒否する人はいない) 等

②管理組合が啓発

- ・防災、防犯上不可欠である旨を説明し、協力を求めた
- ・理事会便り、掲示で出すように呼びかけた 等

(3) 表札を出さない理由で聞いたことがあるもの

①プライバシー又は個人情報に関するもの

名前からネットで個人情報を調べられるのがいや、事実婚で名字が違うため、離婚がわかるのが嫌、等

②住んでいることを知られたくない、人とかかわりたくない

借金等で住んでいるのを知られたくない、セールス・NHK・新聞対策、他の住人と関わりたくない 等

③犯罪、セールス、悪意から身を守る

女性や高齢者の一人住まい、ストーカー対策、しつこいセールスやダイレクトメール対策、強盗や振り込め詐欺のターゲットにならないように 等

④周りが出していない、面倒

周りが出していないので、作るのが面倒、お金がかかる 等

⑤不要だから

必要性を感じない、特殊なセキュリティのため不要、リゾートだから、賃貸住居が多いから 等

(4)表札を出さない傾向についての思い

①出さない傾向は好ましくない

- ・よくない、好ましくない、困ったこと、大問題等 多数
 - ・個人情報保護法の拡大解釈が問題
 - ・周りが怖いから表札を出さないという人は、他の人から見ると、周りに不安を与えている
 - ・表札を出さないことで空き家が多いと思われ防犯上よくない
 - ・表札を出さないことで、マンションの管理、コミュニティのレベルが低く思える 等
- * 個人の自由、出さない方がいいという記載もあり

②表札を出さないことによる問題

- ・誰が住んでいるか分からず交流できない
- ・表札を出さないと交流拒否と感じ、不安に感じる
- ・変な人が住んでいるのではと、不安で気持ちが悪い
- ・荷物や郵便の誤配が多い
- ・匿名性が高まることで、自律・自責意識の低下につながる
- ・部屋番号がわからないと、お届ものや挨拶にも行けない 等

③表札を出すようになるために工夫できること

- ・管理組合が「出そう」と決めたら、ほとんどが従う
- ・管理組合が用意することで、面倒だから等消極的理由の人は出すようになる
- ・分譲当初から用意するなど、最初から出すように導く仕組みをつくる
- ・自由なデザインの表札を出してもいいようにすると出しやすくなる
- ・漢字表記に抵抗があるなら、ローマ字表記でもいい
- ・住んでいると分かることがまず大事なので、芸名、ハンドルネーム、マーク等何でもいいから出す 等

④感想

- ・人間関係が希薄になってきたのは寂しいが、この傾向は続くだろう、何か対策が必要
- ・「無縁社会」が問題となっている時代、まずは向こう三軒両隣の関係をつくるためにも表札は必要
- ・コミュニティの不足はマンションの資産価値の低さにつながる
- ・セキュリティ設備の高度化に伴い、表札は不要になっていくだろう
- ・当マンションは、40年近くみんなが名前を出しているが、一度も問題が起きたことがない
- ・マンションでサークル活動等を通じて人間関係ができるなら表札にこだわらなくてもいい
- ・震災以降、近隣とのつながりに関する意識が変わった 等